



第41号は次の内容です。

1. 宮崎小学校での「田んぼダム」出前講座
2. 生き物調査実施（月崎・清水地区）
3. ため池・水路の注意喚起
4. 所内研修「北部地方振興事務所初配属職員対象の事業視察」
5. R8年度 小牛田農林高等学校学習会の開催



宮崎小学校での「田んぼダム」出前講座

5年生の皆さんへ模型を使って田んぼダムの説明をしました。

日付

令和8年5月29日

場所

NPO法人石母田ふるさと保全会水田

「田んぼダム」とは、田んぼの排水口に小さな穴の開いた「調整板」を取り付け、排水量を調整して大雨の際に一時的に雨水を貯める取り組みです。これにより、水路や河川の急激な増水を抑え、周辺住宅地などへの浸水被害を緩和する役割を果たします。



当日は、クイズを交えながら田んぼダムの仕組みを楽しく解説しました。クイズが始まると元気よく手を挙げ、楽しみながら参加してくれました。また、雨の日の田んぼダムの様子を再現した模型の説明では、身を乗り出して興味津々に見入る様子がとても微笑ましかったです。いつもの田んぼが、みんなの街を守っていることを夢中になって学んでくれました。



生き物調査実施（月崎・清水地区）

農地整備事業において、自然環境に配慮しながら工事を進めることを目的とした「生き物調査」を実施しました。

日付	令和8年6月11日	場所	農地整備事業（月崎・清水地区）
----	-----------	----	-----------------

調査では、カワエビやドジョウ、オタマジャクシ、トウキョウダルマガエルなどの生き物の生息や、オオバコやシロツメクサ、エゾノギシギシなどの植物の生育を確認することが出来ました。

今後も環境との調和を図りながら整備を進めてまいります。

調査の様子



ため池・水路の注意喚起

夏場は水辺での事故リスクが高まる季節です。特に危険な「ため池」や「農業用水路」への立ち入りを防ぐため、Instagramを活用した注意喚起の周知・広報を行いました。

日付	令和8年7月17日	協力	北部教育事務所 (5月22日北部管内農業用排水安全対策委員会開催)
----	-----------	----	--------------------------------------



身近なため池 キケンです！



まもろう ため池ルール

- 1 きけんなため池に近づかない
- 2 フェンスの中に入らない
- 3 遊んだり釣りをしない

【ため池事故防止】

まもろうね！ため池ルール

(Youtubeに接続されます)

動画公開中

(Youtubeに接続されます)



宮城県農政部 農村振興課・農村整備課・農村防災対策室





所内研修

「北部地方振興事務所初配属職員対象の事業視察」

大崎管内に初めて配属となった職員を対象に研修を実施しました。

日付	令和8年6月26日	場所	①美里町 北浦梨 ②宮城県岩出山牧場 ③宮城県森林組合連合 仙北木材センター ④農地整備事業「月崎・清水地区」 ⑤ジェルマン合同会社（畑わさびの栽培）
----	-----------	----	---

管内5箇所の現場・事業所を巡り、各分野での課題や工夫について現場から直接学びました。

①美里町 北浦梨



- この梨園の佐々木氏は、通常摘果を1回行うところ、2回行うことでより大きく美味しい梨を育てています。

②宮城県岩出山牧場



- 異なる農家から預かった牛達ですが、柵の中で序列が出来るそうです。

③宮城県森林組合連合
仙北木材センター



- 画像の丸太で、木を育てた方の利益は約3,000円ですが、この現状を打破しようとする担当者の熱い気概に触れました。

④農地整備事業
「月崎・清水地区」



- 地域全体の農地を一度に休耕にするのではなく、エリアごとに区切って段階的に施工を進める営農配慮の工夫を学びました。

⑤ジェルマン合同会社



- 私達が口にしているほとんどのわさびは水耕栽培ではなく、土で栽培している「畑わさび」であることを知りました。



R 8年度 小牛田農林高等学校学習会の開催

農業技術科農業土木コース1 学年34名（当日出席33名）の生徒に、3か所の現場見学を通して農業農村整備事業や世界農業遺産を学ぶ学習会を開催しました。

日付	令和8年7月10日	場所	①ニツ石ダム ②農地整備事業現場（小野田東部地区） ③色麻町農業伝習館
----	-----------	----	---

見学先の皆さまや講師の方々のご協力により、生徒にとって自身の将来や進路について深く考える、有意義な機会となりました。

①ニツ石ダム



- 管理棟でダムの概要や役割等について講義を受けた後、普段は入れない監査廊を見学しました。

③色麻町農業伝習館



②農地整備事業現場（小野田東部地区）



- 当事務所の職員から農地整備事業の全体像を説明後に、施工を担当する柏原建設(株)の社員の方々から、現場での具体的な工事の流れや最新の「ICT施工」について解説いただきました。
- 大崎市世界農業遺産未来戦略室の三宅自然環境専門員をお招きし、世界農業遺産「大崎耕土」に関する講義を受講しました。

公式Instagramを開設しています！



部公式Instagram「ぼく、ノムラくん」

< <https://www.instagram.com/mynameisnomurakun/> >

記事に関する問い合わせ先

宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部

〒989-6117 宮城県大崎市古川旭4丁目1番1号

TEL：0229-91-0724

ホームページ：< <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/> >